

新しい時代の ジ・エフェクティブ

※ effective…効力のある、有効な、印象的な。【軍】実兵員、実兵力。

仙台市議会議員（若林区）菊地崇良 市政活動報告

THE EFFECTIVE

復興へ

被災した方々の”声”を。現状に即した支援のため、国への要望と市の対応について、継続的に評価・提言します。

●復興公営住宅

市の供給目標戸数 3,200戸 のうち

(平成25年10月現在)



※荒井東Ⅰ期、若林西、田子西など

生活再建本格化の第一段として **661戸** を**26年4月から** 入居開始します。



▲建設の進む復興公営住宅（荒井東地区）

復興公営住宅への期待・募集等について

(2013年9月27日 第3回定例会 決算等審査特別委員会)



仮設住宅など、現在住んでいるところへの2年余りの愛着やコミュニティ形成の状況を踏まえ、被災された方々の個々の事情や声に耳を傾け、用地確保や今後の募集に丁寧に対応されたい。

●防災集団移転

平成26年度内に全移転先（荒井西、荒井南、七郷、六郷地区など13地区）**の造成を完了予定**

- 契約済・中：荒井公共区画整理、仙台港背後地、田子西等
- 26年内供給：荒井東(H26.1～)、石場(H26.7～)

TOPICS



生活再建の独自支援策が拡充されます！

- ◆市内で津波浸水した全地区での建替え・修繕に、**最大100万円の直接補助**を追加します。
- ◆対象となる世帯には、資料が送付されます。

(平成26年2月受付開始)

●地域防災計画

危険地域の事前防災対応

(2013年9月17日 都市整備建設委員会)



水害に対応する土のうの交付など、過去の教訓から災害の危険度が特に高いと考えられる地区に関しては、**地域防災計画**に沿って組織化された地域単位での事前の対応も、検討されるべき。

進捗管理の重要性と防災の意義

(2013年9月30日 第3回定例会 決算等審査特別委員会)

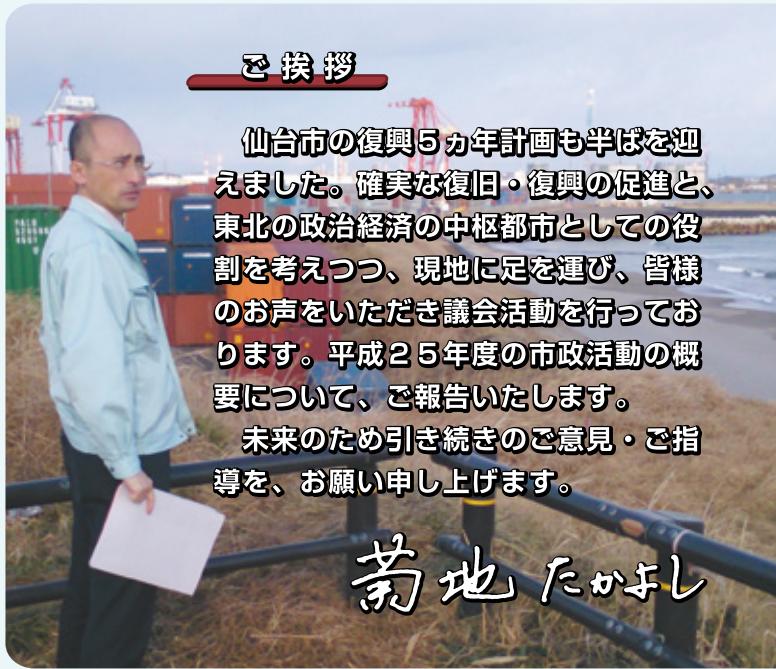


地域防災計画の具体的な実施のためには各局が多岐にわたる防災関連事項の総合的な進捗管理を行い、市民の自助・共助を導いてゆかなければならぬ。防災に向けた取り組みは、その言葉のみにとどまらず地域コミュニティの再生・活性化の観点からも、平素の市民生活の向上とより良い社会の実現に資するものであると確信する。

ご挨拶

仙台市の復興5カ年計画も半ばを迎えました。確実な復旧・復興の促進と、東北の政治経済の中核都市としての役割を考えつつ、現地に足を運び、皆様のお声をいただき議会活動を行っております。平成25年度の市政活動の概要について、ご報告いたします。

未来のため引き続きのご意見・ご指導を、お願い申し上げます。



菊地たかよし

まちづくり

地下鉄東西線開業を2年後に控え、市交通体系の抜本的見直しが進められています。人口減少や経済の一極集中など、将来を見据えた都市計画づくりが、いま必要です。

● 地下鉄東西線開業へ向けて

地下鉄東西線需要予測の下方修正

(2013年6月18日 第2回定例会 一般質問 ほか)

菊地 24年9月事業再評価で、需要予測が一日あたり約12万人から8万人に低下した。シミュレーションによる、駅周辺の効果的施設配置検討が重要。加えて、厳しい予算環境のもといかにして乗車需要を向上させるのか。

事業費の縮減により、収支の単年度黒字化は一年遅れにとどまっている。乗り継ぎしやすい運賃制度やパリアフリーなど、より一層魅力化に努める。



新しい運賃制度

が導入されます！

※26年1月21日 市当局提示案（変更の可能性あり）

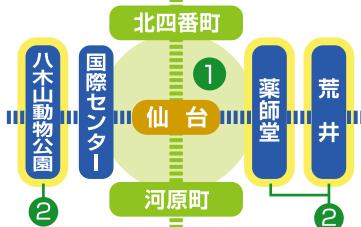
① 地下鉄 市中心部

一律 **200円**

② バス 右図3駅周辺
(黄色枠内、約1.5km圏内)

100円 均一

③ 『イクスカ (ICカード乗車券)』を利用すると、
運賃として使える**ポイント**が貯まります



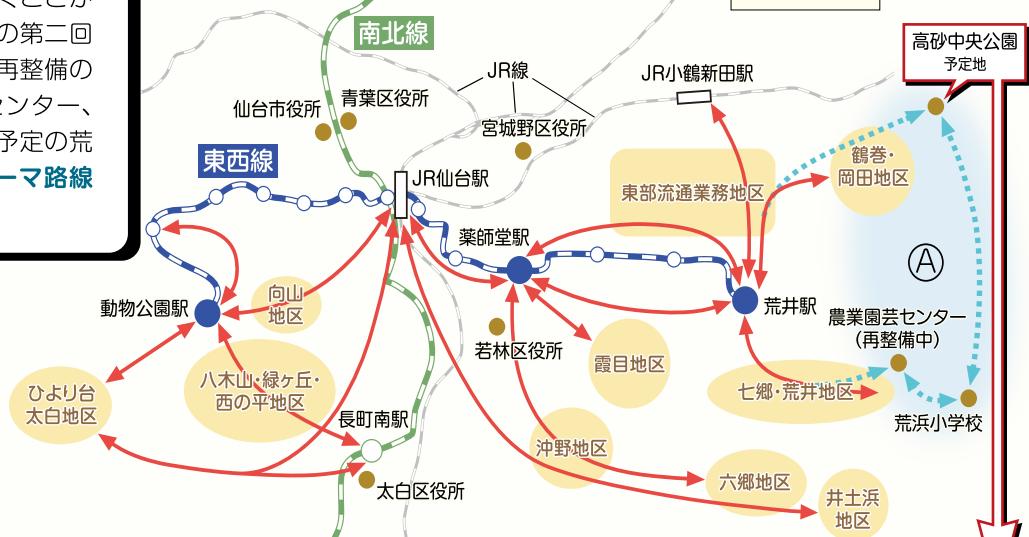
地下鉄荒井駅と民間施設等の接続は、東西線を軸とする交通再編に欠くことが出来ないと考えます。25年6月の第二回定例会一般質問において、先頃再整備の基本方針が示された農業園芸センター、震災メモリアル施設として保存予定の荒浜小等を回遊する『緑と水のテーマ路線(右図A)』を提言しています。



▲東西線荒井駅周辺の状況

《東西線開通後のバス路線結節イメージ》

—市整備案
---菊地案



IC乗車カードシステムの活用

(2013年6月18日 第2回定例会 一般質問)

菊地 導入が決まった IC 乗車券システムから得られる電子データによる利用状況を分析して、ETCのように季節や曜日時間帯によって幅を持たせた運賃設定を行うほか、まちづくりに合わせた効果的なマーケティング配置を図り、経済効果促進を期すべき。

● 高砂中央公園の防災機能

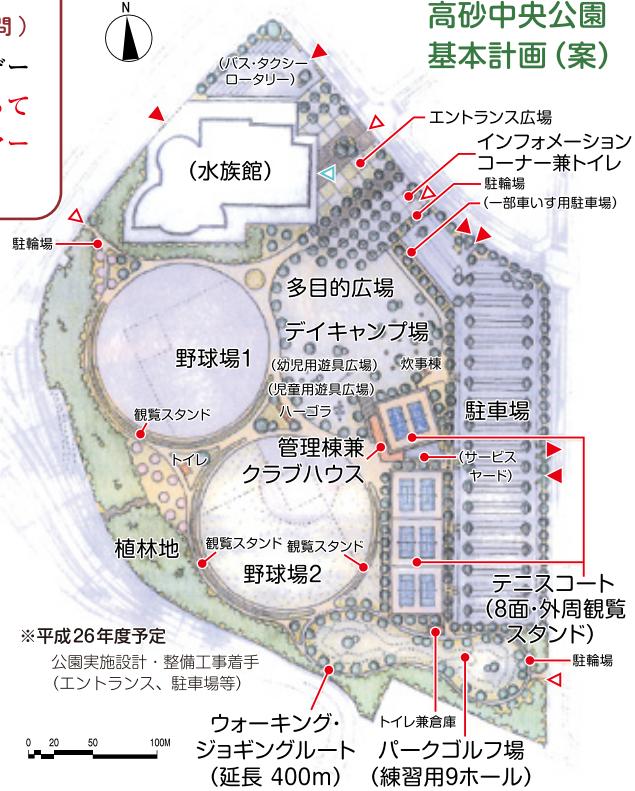
災害対応に要する移動経路

(2013年9月17日 都市整備建設委員会 ほか)

菊地 高砂中央公園を拠点とする災害対応が長期化した場合、物資の搬入や患者の搬送を行う大規模車両部隊の集結が想定される。高速道路に面した通常出入口の無い西側等に大量性・即時性の要求に応えられる進入退出口が必要であり、設置すべき。

市側 非常時の対応はその時々の判断で行われるが、公園施設はそれほど頑丈なものでもないため、有事の際に園路を多少壊すなど工夫して車両が乗り入れ出来るようにする処置も充分可能と考える。事前に想定可能な部分については消防局等と協議し、連携していきたい。

高砂中央公園基本計画(案)



※平成26年度予定
公園実施設計・整備工事着手
(エントランス、駐車場等)

“未来へ” 危機管理体制、海上輸送拠点、さらには持続エネルギー戦略。これからの東北、これからの日本を支える仙台市の、時代を先取りした“体制づくり”が急がれます。



●仙台塩釜港整備

蒲生北部地区の整備活用

(2013年6月18日 第2回定例会一般質問)



菊地

仙台港は、アジアへのコンテナ輸送量の多くを占める北米航路においてアメリカに最も近いという地政学上のメリットを持ちながら、東北の窓口としては設備が不充分なため、横浜や名古屋等と比較して取扱貨物量が著しく少ない。宮城県港湾戦略ビジョンに基づく仙台塩釜港 港湾計画にとどまらず、蒲生北部地区にコンテナヤード、バックヤード、商工業倉庫等物流関連施設を設置して、港湾取扱量を増加すべきである。

※ 宮城県港湾戦略ビジョンとは、仙台塩釜港と松島港、石巻港を一体のものとし、東北を牽引する中核的国際拠点港湾の実現へ向け、各港の施設配置計画を実施するものです。仙台港は東北のコンテナ及びユニット貨物の拠点とされ、自動車関連貨物や大型コンテナ船に対応する埠頭用地の造成等が予定されています。



—仙台塩釜港、その真の重要性—

日本経済の中核を担う海上輸送拠点は、国が国際戦略港湾に指定している京浜港（東京・横浜・川崎）や阪神港（神戸・大阪）ですが、これらはみな一様に太平洋ベルト地帯に位置しており、近い将来発生が予想される南海トラフ地震や津波等によって被災し、その全てが機能不全に陥る恐れがあります。そのためにも仙台塩釜港は、国家の生命線を担う海上輸送の補完代替機能を保有すべきです。

こうしたリスクマネジメントを国家戦略特区申請(↓)などを機に国に認識させることは、国土強靭化政策の一環となるだけでなく、仙台港地区一帯に資源投資を訴える絶好の機会となります。

仙台港の「魅力化」を

(2013年6月18日 第2回定例会一般質問)



菊地

輸送コストを削減出来るようコンテナヤード等に適切な使用料を設定し、また京浜港との連携協定を拡大するなど、外航船等の利用を促進させ仙台都市圏や東北全体の経済振興を図るべき。

仙台塩釜港の港湾管理権

(2013年6月18日 第2回定例会一般質問)



菊地

現在宮城県が有する港湾管理権について、同じ政令指定都市である横浜等に倣い、市による保有も検討されるべきである。

現在地元経済団体等によるポートセールスを行っているが、全国で唯一実用化されている45フィートコンテナの利用拡大や出張セミナー開催、ご提言の施設使用料設定など、東北経済振興の視点から取り組んで参る。



市側

◆菊地私案(国家戦略特区申請の検討対象として)

仙台市の推進する持続エネルギー戦略に係る全市先進的な取り組みは世界に誇れるものであり、全人類にとっても有効なものであると認識する。

震災復興沿岸部一帯の新世代複合的エネルギー開発都市へ向けた特区申請も、有力な一案ではないか。

(2013年9月12日 第3回定例会一般質問)



▲南蒲生浄化センター(宮城野区)の藻類バイオマス技術開発実験室

▲制風発電装置を津波避難道路法面に設置し、エネルギー対策と防災を両立する案も提言

●国家戦略特区措置の活用

震災復興特区との関係性

(2013年9月12日 第3回定例会一般質問)



菊地

最長10年で終了する震災復興特区や、地下鉄開業、オリエンピック等終了後を見据えた中長期の先行的措置が求められる。

仙台市独自の“チャレンジ”を



菊地

市長の公約にも掲げられた『チャレンジ』の言葉通り、国際リニアコライダー(ILC)計画推進を目指す県などとの共同申請とは別に仙台市独自の国家戦略特区申請を行い、復興以外の平素の業務における仙台の先進事例発信の場としてほしい。

●仙台市の組織改編

体制の現状に対する懸念と要望

(2013年6月18日 第2回定例会一般質問)



菊地

①国連防災世界会議の開催が決定した仙台市だが、現危機管理体制での東日本大震災クラスへの災害対応に懸念。指揮命令や総合調整に実効性を担保するため、危機管理監に副市長クラスの権限を付与すべき。②東北の政治経済の中枢として国・県に更にしっかりと提言するための、長期視点・組織横断のための戦略的機能を有する部局が必要である。

①過去の積み重ねが通用しない想定外の事態に対応するために、危機管理専門の部局へ担当職員を派遣し研修・訓練を強化して、危機の本質を把握しながら体制を構築して参りたい。②総合計画期間(10年)のみならず、場合によっては30、50年後も見据えて研さんを深めることが極めて重要である。復興の加速化に励みつつ、長期的な課題についても研さんを深め、東北・宮城・仙台発展のため、発信を続けたい。



市長

教育

震災からの復興はもちろん、まちづくりの礎となる”ひとつくり”的なため、また不登校等の諸問題に対応するためにも、地域の力を最大限に教育に活用する柔軟な姿勢や制度改定を求めていきます。

各種施策の周知徹底



(2013年10月1日 第3回定期会 決算等審査特別委員会)

菊地 教育諸施策は、保護者・地域の協力なくして実現は難しい。あらゆる手段を用い、保護者等への周知徹底を図るべき。小中連携・地域連携はもちろん、本市取り組みの学校地域協力本部なども、学習支援のみならず、児童生徒指導に積極的に役立てるべきではないか。

知つ
ました?

*12~3月は冬季休館

水道記念館

仙台市青葉区熊ヶ根字大原道地内
電話/FAX 022-393-2188

市の公共財産である、水道記念館。

仙台の素晴らしい水の歴史やインフラをより多くの子供たちに知ってもらうためにも、25年11月の都市整備建設委員会において、**学校等へのPRなどについて提言しました**。森林散策の拠点にも!

仙台市重度被災校の現状と、今後の予定(案)《平成26年1月現在》

蒲町小学校 (現在プレハブ校舎)

- 着工: 平成25年11月 (全校舎 建て直し)
- 完成: 平成26年度末 (予定)

※平成27年度 新学期から新校舎で授業

南光台小学校 (現在プレハブ校舎)

- 着工: 平成26年1月 (全校舎 建て直し)
- 完成: 平成26年度末 (予定)

※平成27年度 新学期から新校舎で授業

七郷中学校

- 着工: 平成25年6月 (特別教室棟 建て直し)
- 完成: 平成26年11月 (予定)

六郷小学校

- 着工: 平成25年6月 (体育館 建て直し)
- 完成: 平成26年度末 (予定)

折立小学校

(折立中敷地のプレハブ校舎で開校中)

- 着工: 平成25年10月 (復旧工事)
- 完成: 平成26年4月本校舎に復帰 (予定)

東六郷小学校

(六郷中 校舎内において開校中)

- 平成28年度4月六郷小学校に統合という教育局の案を協議中

- 校庭の整備を予定

- 校舎については、地域意見を踏まえ今後検討予定

荒浜小学校

(東宮城野小 校舎内において開校中)

- 平成28年度4月七郷小学校に統合という教育局の案を協議中

- 校舎は震災メモリアル施設として保存する方向で検討中

中野小学校

(中野栄小 校舎内において開校中)

- 平成28年度3月閉校予定

- 防潮堤工事に掛かるため全施設解体 (完了)

【被災原因 : ■ 地震 ■ 地滑り ■ 津波]

コミュニティの中核としての学校

(2013年10月1日 第3回定期会 決算等審査特別委員会)



菊地 学校を現地での生活再建を決める重要な判断要素としている方も多い。多数の施設が被災した中、例えば統廃合が協議されている学校に関して、緊急一時避難場所としての指定からさらに一步先へ進め、将来にわたり現地の人々が集って活動出来る《地域コミュニティセンター》のように再整備する等の提示や議論が、あって然るべきではないか。

社会教育施設の運営管理

(2013年10月1日 第3回定期会 決算等審査特別委員会)



菊地

様々な子供たちに有用な「泉ヶ岳少年自然の家」は、指定管理者制度・民営化が導入されることにより利用しにくくならないか。特に、社会性の高い団体等に及ぼす影響はないのか。

新名称を『泉ヶ岳自然ふれあい館』として26年6

月に竣工予定であるが、市内の学校利用は10割減

免、子供会等は5割減免の考え方が示されており、



利用実態や基本理念を踏まえ、詳細を決定して参りたい。

菊地 崇良(たかよし)プロフィール



- 昭和43年 宮城県仙台市 生まれ
- 仙台市立七郷小学校／蒲町中学校／宮城県仙台第一高等学校(高39回)／東北学院大学 法学部 卒業
- 平成5年 陸上自衛隊に入隊
仙台、秋田、市ヶ谷などで、約18年間 勤務
平成22年12月 二等陸佐(中佐)で退官
- 平成23年8月 若林区選挙区にて初当選

● 役職

都市整備建設委員、次世代育成調査特別委員、社会教育委員
自由民主党 宮城県支部連合会 政調副会長

東北・新市議会議員研究会 代表世話人

全国・宮城県「武の会」東北ブロック担当

北朝鮮に拉致された日本人を救出支援する仙台市議会議員連盟 事務局長

防災士、社会貢献福祉士 ほか

● 趣味 芸術鑑賞、ジョギング、銃剣道、剣道、神社仏閣巡り

● 議会における質疑応答については、一部を抜粋・要約して掲載しています。

● 細部については仙台市ホームページでご覧になれるほか、菊地たかよしのホームページや事務所にて、質疑要約集をご用意致しております。

菊地たかよし事務所

T 984-0038

仙台市若林区伊在字前通15-2

TEL 022-390-4105

FAX 022-288-2342

Eメール:

takayoshi.kikuchi6231@gmail.com

ホームページ:

<http://kikuchitakayoshi.web.fc2.com/top.html>

Pick up! 今期の出来事

◇9月／震災がれきの焼却処理終了(リサイクル率72%)

◇12月／議員提案で空き家対策条例制定

《再生紙を使用しています》